



平成25年度完成 優良工事等事務所長表彰式について（お知らせ）

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局千曲川河川事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的としています。

今年度は、平成25年度に完成した工事32件、委託業務34件の中から、事務所長表彰の優良工事等を下記のとおり選定し、表彰式を実施しますのでお知らせします。

また、7月18日行われました優良工事等の局長表彰の披露も行います。

事務所長表彰

1. 優良工事

藤森建設工業株式会社 「岩井地区県道付替工事」
株式会社北條組 「綱島護岸下流その2工事」

2. 優良建設技術者（工事）

株式会社守谷商会 尾崎 聖
藤森建設工業株式会社 下田 明信

3. 優良建設技術者（委託業務）

株式会社東京建設コンサルタント 盛 伸行

4. 優良工事における下請負者

富士炉材株式会社 「とび・土工工事業」

5. 下請負者の技術者

富士炉材株式会社 小柳 利夫

局長表彰 披露

1. 優良工事

株式会社守谷商会 「天神護岸工事」

表彰日時

平成26年7月25日（金） 14:00～15:00

場所：千曲川河川事務所 大会議室（2階）
長野市鶴賀字峰村74 TEL 026-227-7611

扱い：配布を持って解禁とします。

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所

工事品質管理官 宮下 茂

電話026-227-7611

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

平成25年度完成 優良工事 【事務所長表彰】

受注者	藤森建設工業株式会社	事務所名	千曲川河川事務所
	代表取締役 藤森 明男	工期	平成25年 3月 7日 ～ 平成26年 1月18日
	長野県長野市三輪6丁目7番地6号	請負金額	222,328千円
工事名	岩井地区県道付替工事	工事場所	長野県中野市岩井地先
工事概要	道路改良:施工延長1,100m 道路土工:掘削工 5,700m ³ 、路体盛土工 5,300m ³ 路床盛土工 5,700m ³ 法面工:植生工1式 舗装工:アスファルト舗装工県道(本線) 7,090m ² 、(歩道) 300m ² 市道付替 194m ² 排水構造物工:プレキャストL型側溝 1,034m、自由勾配側溝 1,077m 集水桝 1式 縁石工:歩車道境界ブロック 1,071m		
推薦理由	本工事は、中野市岩井工区の暫定堤防完成化にむけての現道県道中野飯山線及び市道岩井赤岩線の付替えを目的として実施したものである。 施工区間は全長 1.1kmに及び、地域住民が利用する県道及び市道の安全な交通確保と工事完成後における早期交通開放が必要となり、安定した路床構築確保や工程調整等の課題が山積する中、徹底的な設計照査を実施し、詳細設計や修正設計に対し積極的な提案や創意工夫をもって課題解消を図り、年内の供用開始にこぎつけ、工事を完成させた。		

平成25年度完成 優良工事 【事務所長表彰】

受注者	株式会社 北條組	事務所名	千曲川事務所
	代表取締役 北條 高己	工期	平成25年5月22日 ～ 平成26年 3月28日
	長野県長野市大字村山348番地1	請負金額	243,495千円
工事名	綱島護岸下流その2工事	工事場所	長野県長野市綱島地先
工事概要	綱島における護岸工事は、平成23年度災害における災害関連事業であり、低水護岸約200mのうち、下流工区140mを施工したものである。施工内容は、プレキャスト基礎6形 141m、同1形142m、大型ブロック張り 1,386m ² 、平張りコンクリート350m ² 、練り石張り 1,125m ² 、根固めブロック製作据え付け305個、巨石水制2基、木工沈床1,258m ² を施工を行った。現場条件としては、下流端に国道18号線の橋梁があるため、重機作業に制限がある他、高水敷を利用した遊歩道が隣接しており利用者への安全対策が必要な工事であった。また、堤内地には井戸水を利用している家庭や事業所があり、ポンプ排水による井戸涸れが懸念される現場であった。		
推薦理由	・本工事は、国道橋の橋梁下で行う工事であり、作業にあたっての安全管理は、オペレーターの意見も取り入れつつ、現場が一体となった取り組みにより無事故で工事を終えた。堤内地には、井戸水を使用している家庭や事業所があり、ポンプ排水による井戸涸れが懸念されたことから、専門業者と協力体制を組み、不具合が発生した当日のうちに対応を行った事により苦情も無く工事を終えた。護岸の施工にあたっては、バイブレーターや養生に工夫をこらし良質なコンクリートの施工を行ったほか、木工沈床にNETS製品を使うことにより施工精度が高く、品質や出来映えの良い護岸の施工が行えた。また、地元公民館に護岸の模型を寄贈し感謝状をもらうなど、地域貢献も顕著であった。		

平成25年度完成 優良建設技術者(工事)【事務所長表彰】

技術者	下田 明信 (監理技術者)	事務所名	千曲川河川事務所
		工事名	岩井地区県道付替工事
		工事場所	長野県中野市岩井地先
	藤森建設工業株式会社 代表取締役 藤森 明男 長野県長野市三輪6丁目7番地6号	工期	平成25年 3月 7日 ～ 平成26年 1月18日
		請負金額	226, 328千円
推薦理由	<p>施工区間は全長 1.1kmに及び、地域住民が利用する県道及び市道の安全な交通確保と工事完成後における早期交通開放が必要となり、安定した路床構築確保や工程調整等の課題が山積する中、徹底的な設計照査を実施し、詳細設計や修正設計に対し積極的な提案や創意工夫をもって課題解消を図り、年内の供用開始にこぎつけ、工事を完成させた。</p>		

平成25年度完成 優良建設技術者(工事)【事務所長表彰】

技術者	尾崎 聖 (監理技術者)	事務所名	千曲川河川事務所
		工事名	天神護岸工事
		工事場所	長野県上田市天神地先
	株式会社 守谷商会 代表取締役 伊藤 隆三 長野県長野市南千歳町878番地	工期	平成25年3月12日 ～ 平成26年3月28日
		請負金額	308, 175千円
推薦理由	<p>本工事は、市街地に隣接した上田市天神地先の護岸工事で、同一の仮締切り内の連続した4件の工事の最上流工区である。工事間の各種調整が必要なことから、工事連絡会の会長を務め、共用する工事用道路の使用や撤去時期等、全体工事の管理を行った。また、連絡会の会長(統括安全衛生管理義務者に指名)として漁協への工事説明を適時に行うとともに、積極的に地域とのコミュニケーションを図りながら工事を進捗させ、苦情もなく無事故で完成させた。</p>		

平成25年度完成 優良建設技術者（委託業務）【事務所長表彰】

技術者	盛 伸行 (管理技術者)	事務所名	千曲川河川事務所
		業務名	荻原地区樋門及び橋梁詳細設計業務
	株式会社 東京建設コンサル タント北陸支社 支社長 矢田 弘 新潟県新潟市中央区東大 通1丁目2番23号	工期	平成25年 5月11日 ～ 平成26年 3月25日
		請負金額	22,680千円
推薦理由	<p>本業務は、安曇野市荻原地先において堤防施工に伴い必要となった樋門新設と橋梁架け替えの詳細設計を行う業務である。</p> <p>荻原地区堤防整備は、事業用地取得に向け地元と協議を進めている状況のもとで、現地精査等に伴い従前の設計に対し早急な対応が必要であったが、業務実施にあたり十分な現地調査を含め現地状況をよく把握し、迅速に、かつ的確な対策案の提案を行い確実な事業進捗に大いに貢献した。</p> <p>また、本業務では荻原地区堤防整備を対象に、従来では設計段階までの適用であったCIMについて、設計段階で作成した3Dモデルを施工段階における情報化施工に活用できるよう検討を進め、業務の効率化に大きく貢献した。</p>		

平成25年度完成 下請負者・技術者 【事務所長表彰】

事務所名	国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所		
優良工事名	天神護岸工事		
元請推薦業者名	株式会社 守谷商会		
下請負者名	富士炉材 株式会社 長野支店	住所：長野県 長野市 大字 南長池478-1	
主任技術者名	小柳 利夫		
専門工事業	とび・土工 工事業		
工事内容	1) 河川土工 2) 根固め工(運搬・据付) 3) 構造物撤去工 4) 仮設工	23,000m ³ 506個 1式 1式	
推薦理由	<p>瀬替え及び仮締切工の施工に際し、濁水の低減対策として複数台の機械投入による施工日数の短縮を技術提案としていたが、下請業者から掘削方法等の追加提案・施工管理等により、更なる濁水抑制・早期切り回しができ、別途発注の下流3工区についても10月中に仮締切堤が早期完成本体着手に至った。</p>		

平成25年度完成 優良工事 【局長表彰】

受注者	株式会社 守谷商会 代表取締役 伊藤 隆三 長野県長野市南千歳町878番地	事務所名	千曲川河川事務所
		工期	平成25年3月12日 ～ 平成26年3月28日
		請負金額	308,175千円
工事名	天神護岸工事	工事場所	長野県上田市天神地先
工事概要	河川土工18,000m ³ 、プレキャスト基礎6型201m、プレキャスト基礎1型201m、石張り工1,118m ² 、大型ブロック張1,972m ² 、根固めブロック製作据付644個、巨石水制4基		
推薦理由	<p>本工事は、市街地に隣接した上田市天神地先の堤防護岸工事で、練石張り、大型ブロック張り、巨石水制等を施工したものであり、同一の仮締切り内の連続した4件の工事の最上流工区である。工事間の各種調整が必要なことから、工事連絡会の会長（統括安全衛生管理義務者に指名）を務め、共用する工事用道路の使用や撤去時期等、全体工事の管理を行いながら無事故で工事を完成させた。また、連絡会の会長として、漁協への工事説明も適時に行うとともに、積極的に地域とのコミュニケーションを図りながら苦情もなく工事を進捗させ、地域への貢献も顕著であった。</p>		